



紙面から

お知らせ  
平成21年度決算 健全化の指標及び公会計制度による財務分析……………2

催し  
多摩・島しょ子ども体験塾……………5

催し  
地域の身近な子育て支援の場「子育てひろば」のご利用……………6

特集  
第5次日野市基本計画・基本構想素案が出来ました……………8

特集  
平成21年度事業の市民評価結果を市長に提出…8

# ごみ・資源物をみんなで減らしましょう

平成21年度のごみ量や市のごみ処理経費、「容器包装お返し大作戦！」の成果などをご報告します。おかげさまで、ごみ・資源物は減量傾向です。今後も私たちの生活を見直し、公民協働で一緒にごみゼロ社会を目指しましょう。  
ごみゼロ推進課 (☎581 - 0444)

### これだけかかるごみ処理経費 886円安くなりました

市民1人当たりのごみ処理経費	
平成11年度(改革前)	12,488円
平成13年度(改革1年後)	16,318円
平成15年度(改革3年後)	14,850円
平成17年度(改革5年後)	14,497円
平成19年度(改革7年後)	14,521円
平成20年度(改革8年後)	13,527円
平成21年度(改革9年後)	12,641円

ごみ処理にかかる経費は、約22億3千200万円(対前年度比6.1%減)もかかりました。これは市の一般会計全体の4%になります。しかし、収集運搬費を11%減にするなどの努力により、市民1人当たりの経費は前年度より886円安くなりました。引き続き、ごみ・資源物の減量にご協力ください。なお、ごみ処理手数料(指定収集袋)の歳入は4億1千300万円、ごみ処理経費全体の18%になります。

### 目指せ!多摩地区ベスト1 多摩地区30市町村ランキング

可燃ごみ	不燃ごみ	総ごみ	リサイクル率
ベスト1 小金井市 440.3g	ベスト1 羽村市	ベスト1 小金井市 720.6g	ベスト1 調布市 27.7%
日野市 440.3g	日野市	日野市 720.6g	日野市 35.7%
昨年と同位のベスト3	昨年と同位のベスト25	昨年と同位のベスト7	

平成17年に見直された「環境基本計画」では、1人1日当たりの排出量が平成22年度に多摩地域で一番少ない自治体になるという目標を掲げています。

### 「ごみ改革」後、最少の排出量 1人1日当たりのごみ・資源物量

市民1人1日当たりの総ごみ量(資源物や持ち込みごみを含む)は、ごみ改革後一番の下げ幅です。ご協力ありがとうございました。しかし、市民参画で策定した減量目標値はさらに少ない排出量です。

### 公民協働でごみゼロ社会を目指そう!

プラスチック系がほとんど → レジ袋は断って、容器包装は「お返し大作戦!」

主に家庭からのごみ・資源物

可燃ごみの半分が「生ごみ」です  
→ 買い過ぎない・作り過ぎない・食べ残さない  
→ 捨てる前に水分を絞る、土に返す

市民の皆さまにお願いしたい課題は二つ。「生ごみ」と「プラスチックごみ・資源物」の削減です。市でも、中間処理の方法を改良して最終処分場への搬入量を減らすなどの努力を進めています。公民協働で、ごみゼロ社会を目指しましょう。

### 事業系ごみ減量に向けて「持ち込みごみ手数料」改定へ

〈総ごみ量46,444tの内訳〉

来年度から1kg当たり42円に改定(今年度まで25円)

小・中学校の給食の食べ残しや、河川敷の刈り草などを民間施設でリサイクルさせたり、事業所から搬入されたごみの検査・指導を強化した結果、持ち込みごみを1千226t減らすことが出来ました。更に来年度からは、持込手数料を改定し、一層のごみ減量を促します。詳細は広報今号2面を参照

### 「容器包装お返し大作戦!」の成果

買ったお店の「回収ボックス」にペットボトルやトレーなどの資源物をお返しいただく大作戦。市が回収・中間処理した量は、昨年度上半期と比べて約3割減少しました。皆さまのご協力に感謝します。引き続き、各お店の「お返し」のルールをお守りください。

## 江戸時代の奥深さ

ごみ改革の時、リサイクル社会の見本となるのは江戸時代だと書いたことがある。実際調べれば調べるほど江戸は奥が深い。明治維新は確かに日本の近代化を進めたい優れた点も多かった。しかし私たちは、江戸の文化や社会制度の良いところを随分捨て去ってしまったように思う。新しい学習指導要領では、日本の伝統文化を授業の中で教えるという。おそらく江戸文化が基本になるはずだ。やや遅きに失したかもしれないが、ひとまず安心していい。

袋小路に入り込んだ現代日本を立て直すためには、貴重なヒントが隠されている江戸時代を幅広く研究すべきだと思う。例えば260年の平和、各藩が自立していたこと、高度な経済・為替制度など学ぶべきは数多い。

日野宿本陣では江戸文化に親しもうという講座を定期的に開いている。そこで演奏される歌謡及び三味線など「邦楽」の素晴らしさについて書いてみたい。

一節節にしても長唄や浄瑠璃にしても、唄い手や聴き手に心地よい歌であり発声法だから残っている、ということ。邦楽特有の発声や節回しは師匠から一対一で習い覚えるもので、楽譜はなかった。とはいえ、西洋音楽とは異なる独自の音階がしっかりと確立されていたのだ。

庶民レベルにおいて高度の音楽性・芸術性が受け継がれていたことを忘れてはなるまい。更に、健康法としても優れているという。

江戸文化を訪ねてみよう。